

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001404005 区画整理課事業管理係

事務事業 02286 桜井換地事業

電話番号 0566-71-2261

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	001	1 2 都市基盤 その他			
事務事業	004	桜井換地事業			
事業期間	平成11年度 ~ 令和 6年度	26 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ばしょ	マニフェスト			
根拠法令等	土地区画整理法、大都市法、市条例（施行規程）				
備考					

【事業分析】

対象	桜井駅周辺の土地が
目的	利用増進することができるようになります。
手段	土地区画整理事業により、本市南部の地域拠点として位置付けされた桜井駅周辺の都市基盤整備を行い、安全で快適な住環境を備えた市街地を創出します。
事務内容	桜井区画整理事業の換地に関する仮清算、仮換地変更、使用収益開始、証明書発行、保留地分譲、審議会・評価委員会の開催等の事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	434,981	398,186	0
事業費	403,631	372,391	0
国庫支出金	0	66,000	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	296,052	169,307	0
一般財源	107,579	137,084	0
人件費計	31,350	25,795	0
正規（人）	4.75	3.85	0.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	(実績) 保留地処分面積 992㎡	(実績) 保留地処分面積 270㎡	

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月19日
10時27分36秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404005 区画整理課事業管理係
事務事業 02286 桜井換地事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
家屋移転率（移転戸数 ÷ 総戸数（ 4 6 2 戸 ） ）	%	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00

【定性評価】

	カテゴリ	評価の観点	基準		ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1	国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2	国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3	国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		安城市が事業計画において施行者に定められています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1	市民ニーズは充分にある	1
			2	社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3	市民ニーズはない又は不明である	
理由		基盤整備が進み、土地利用が図られています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1	目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2	目標を下回る進捗状況である	
			3	進捗はかなり遅れている	
理由		換地処分を終え、土地利用が進んでいます。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1	事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2	事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3	事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		事業進捗の推進に努め、令和6年度中に換地処分ができました。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1	環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2	環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3	環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		統一された補償算定基準により、サービス水準の差がありません。			

事業の方向性	休止・廃止・終了
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業の完了に伴い終了しました。

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404005 区画整理課事業管理係
事務事業 02287 桜井区画整理事業特別会計繰出事務 電話番号 0566-71-2261

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	001	1 2 都市基盤 その他			
事務事業	005	桜井区画整理事業特別会計繰出事務			
事業期間	平成11年度 ~ 令和 6年度	26 年間			
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ばしょ	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業の資金収支の均衡のための一般会計による事業費の一部負担

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		387,040	198,122	0
事業費	事業費	386,050	197,117	0
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	59,000	0
	その他	0	0	0
	一般財源	386,050	138,117	0
	人件費計	990	1,005	0
	正規（人）	0.15	0.15	0.00
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	一般会計から安城桜井 駅周辺特定土地区画整 理事業特別会計への繰 り出し事務	一般会計から安城桜井 駅周辺特定土地区画整 理事業特別会計への繰 り出し事務	

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404005 区画整理課事業管理係
事務事業 02287 桜井区画整理事業特別会計繰出事務

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		市が施行者に対し、行うべき事務です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	3
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		市が施行者に対し、行うべき事務です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		正確、迅速な事務処理に努め、人件費削減を図っています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		事業計画における資金計画に基づき繰出金額を決定しています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1 次コメント (4 0 0 文字)	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業の完了に伴い終了しました。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404015 区画整理課組合支援係
事務事業 03492 三河安城駅南土地区画整理支援事業

電話番号

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	001	1 2 都市基盤 その他			
事務事業	009	三河安城駅南土地区画整理支援事業			
事業期間	令和 5年度 ~ 令和13年度	9 年間			
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	普通建設事業費
重点戦略	ばしょ	マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	三河安城駅の約 1 k m圏内に位置し、都市計画マスタープランにおいて住居系拡大市街地に位置付けられている三河安城駅南地区について
目的	本地域で増加すると予測される子育て世代などの受け皿として、計画的な基盤整備が行われます。
手段	三河安城駅南土地区画整理組合が実施する土地区画整理事業に対し、市が助成を行うことによって、健全な市街地の発展と秩序ある市街地整備の促進を図ります。
事務内容	土地区画整理事業施行のための専門的知識を有する職員による技術的援助 三河安城駅南土地区画整理組合が実施する対象事業に係る費用に対する補助金の交付

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	6,600	202,400	484,000
事業費	0	189,000	456,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	450,000
一般財源	0	189,000	6,000
人件費計	6,600	13,400	28,000
正規（人）	1.00	2.00	4.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	三河安城駅南土地区画整理組合の事務に係る支援及び指導	三河安城駅南土地区画整理組合の事務に係る支援及び指導	三河安城駅南土地区画整理組合の事務に係る支援及び指導
【事務事業活動実績】			

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月19日
10時28分19秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404015 区画整理課組合支援係
事務事業 03492 三河安城駅南土地区画整理支援事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
事業進捗率（決算額累計÷総事業費）	%	0.00 0.68	0.00 3.97	21.42 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
	理由	市が施行者に対し、行うべき事務です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
	理由	市が施行者に対し、行うべき事務です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
	理由	組合の事業計画に合わせ、適切な支援ができています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
	理由	組合への適切な支援及び指導により、事業費の削減に努めています		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
	理由	組合の事業計画に合わせ、適切な支援ができています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	令和 3 年度の市街化区域編入及び土地区画整理事業の決定を経て、令和 5 年 3 月 3 1 日に三河安城駅南土地区画整理組合の設立が認可されました。令和 7 年度は、組合による仮換地指定が行われるとともに一部工事に着手する予定とされています。今後は、移転補償や工事の施工など組合による事業実施が滞りなく進められるよう、技術及び資金の両面から支援してまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

1 頁

令和 7年11月19日
10時25分58秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404020 区画整理課工務係
事務事業 02265 南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	003	安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	005	南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業			
事業期間	平成22年度 ~ 令和 9年度	18 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	道路の利用者が
目的	安全に通行することができるようになります。
手段	南明治土地区画整理事業の進捗に合わせ、事業区域から延伸する地区外の都市計画道路等の整備を進めます。
事務内容	第一土地区画整理事業に隣接する道路整備計画の進捗管理、設計業務、工事現場監督、関連事業者との調整、物件調査・補償、用地買収。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	279,685	311,622	156,700
事業費	266,485	292,862	139,900
国庫支出金	78,650	49,522	22,731
県支出金	0	0	0
地方債	67,200	43,800	11,000
その他	0	0	0
一般財源	120,635	199,540	106,169
人件費計	13,200	18,760	16,800
正規（人）	2.00	2.80	2.40
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	（都）南安城横山線整備のため、未広橋（第一・二期分）の改築工事をしました。また、（都）南安城横山線の道路築造、用地測量及び物件移転補償調査を実施しました。	（都）南安城横山線の道路築造工事を実施しました。（都）南安城横山線の道路築造に関わる用地地権者より用地及び物件移転補償契約を実施しました。	（都）南安城横山線の道路詳細設計を実施します。（都）南安城横山線の道路築造に関わる地権者より用地及び物件移転補償契約を実施しました。

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月19日
10時25分58秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404020 区画整理課工務係
事務事業 02265 南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
(都) 南名城横山線 家屋移転の進捗率 (戸 数)	%	0.00	0.00	83.00
		0.00	58.00	0.00
(都) 南名城横山線 道路築造の進捗率 (延 長ベース)	%	61.90	0.00	74.30
		61.90	61.90	0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		市道の整備であり、市による事業実施が必要です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		交通渋滞の緩和、自転車、歩行者の安全確保のために必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由		土地区画整理事業に合わせて進捗しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		積極的に国、県の補助金を活用し事業を進めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		他自治体等と同様に基準に沿った整備内容です。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	南明治第一土地区画整理事業に関連する都市計画道路の整備を進め、残るは南名城横山線の物件移転、道路工事となりました。事業計画通りに終わられるよう今後も事業を推進してまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001404020 区画整理課工務係

事務事業 02285 桜井施設整備事業

電話番号 0566-71-2246

【基本情報】

計画回数	03	第 9 次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	001	1 2 都市基盤 その他			
事務事業	007	桜井施設整備事業			
事業期間	平成11年度 ~ 令和 6年度	26	年間		
実施方法	一部委託				
会計区分	桜井区画整理特会	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略	ばしょ	マニフェスト			
根拠法令等	土地区画整理法、大都市法、市条例（施行規程）				
備考					

【事業分析】

対象	桜井駅周辺地域の土地利用が
目的	利用増進することができるようになります。
手段	土地区画整理事業により、本市南部の地域拠点として位置付けられた桜井駅周辺の都市基盤整備を行い、安全で快適な住環境を備えた市街地を創出します。
事務内容	桜井区画整理事業の工事に関する計画・施行管理、工事設計及び測量等の事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	139,788	63,860	0
事業費	126,918	60,510	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	90,116	30,282	0
一般財源	36,802	30,228	0
人件費計	12,870	3,350	0
正規（人）	1.95	0.50	0.00
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	（実績） 調整池整備箇所 N=1箇所	（実績） 整地整備面積 A=591㎡ 排水路築造整備延長 L=136m	

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404020 区画整理課工務係
事務事業 02285 桜井施設整備事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
道路築造率（道路築造 済延長÷道路総延長× 100）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	0.00 0.00

【 定性評価 】

	カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	事業計画で安城市が施工者に定められています。			
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	工事等を行い基盤整備することで、土地利用が図られています。			
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由	道路築造率が100%となり、沿線の土地利用が進んでいます。			
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	一般競争入札により競争性を確保しコスト縮減に努めています。			
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	現在の構造規格に合わせ施工しています。			

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	休止・廃止・終了
1 次コメント （ 400 文字 ）	安城桜井駅周辺特定土地区画整理事業の完了に伴い終了しました。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 400 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001404070 区画整理課換地係

事務事業 02270 南明治第一土地区画整理事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画次数	03 第 9 次安城市総合計画				
重点戦略	003 ばしょ				
分野別	001 1 2 都市基盤				
施策の取組	003 安全かつ利便性の高い市街地の形成				
事務事業	007 南明治第一土地区画整理事業				
事業期間	平成19年度 ~ 令和 8年度	20 年間			
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	土地区画整理法				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。また、美しい市街地景観が形成され、都市機能の整備も図られて、土地利用を増進させることができますようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。なお、住宅市街地総合整備事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。
事務内容	南明治第一土地区画整理事業の換地に関する仮清算、仮換地変更、使用収益開始、証明書発行、審議会・評価委員会の開催等の事務

【コスト】

（単位：千円）

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	286,065	636,234	816,177
事業費	253,725	608,094	783,977
国庫支出金	72,250	167,607	225,071
県支出金	0	7,500	0
地方債	59,000	121,000	174,000
その他	14	11	240,302
一般財源	122,461	311,976	144,604
人件費計	32,340	28,140	32,200
正規（人）	4.90	4.20	4.60
その他経費	0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	仮換地指定面積858㎡ 建物移転戸数1戸 道路築造延長84.0m	仮換地指定面積4,723㎡ 建物移転戸数2戸 道路築造延長308m	仮換地指定面積5,259㎡ 建物移転戸数1戸 道路築造延長60m

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

2 頁

令和 7年11月19日
10時28分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404070 区画整理課換地係
事務事業 02270 南明治第一土地区画整理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
家屋移転の進捗率（戸数）	%	99.40 99.04	0.00 99.68	100.00 0.00
仮換地指定の進捗率（面積）	%	86.55 89.20	0.00 93.80	100.00 0.00
道路築造の進捗率（延長ベース）	%	92.00 92.00	0.00 97.10	97.90 0.00
水路築造の進捗率（延長ベース）	%	100.00 100.00	0.00 100.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	既成市街地の整備であり市が事業を実施する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無 1 市民ニーズは充分にある 2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 3 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	平成18年に末広・花ノ木から事業促進陳情書が提出されています		
3	有効性	目標に対する進捗状況 1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 2 目標を下回る進捗状況である 3 進捗はかなり遅れている	1
理由	事業費ベースの進捗率は82.2%で順調に進捗しています。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	住宅市街地総合整備事業と合併施行を実施しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	家屋の移転も大方終了し、残るは換地処分、電線共同溝の工事となりました。事業計画通りに終わられるよう今後も事業を推進してまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404070 区画整理課換地係
事務事業 02271 住宅市街地総合整備事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	001	1 2 都市基盤 その他			
事務事業	008	住宅市街地総合整備事業			
事業期間	平成18年度 ~ 令和 8年度	21	年間		
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。
手段	土地区画整理事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。
事務内容	令和6年度まで 住宅市街地総合整備事業による老朽建築物等除却、公共施設等整備、仮設住宅等設置、共同施設整備、コミュニティ住宅建設工事等 令和7年度以降 仮設住宅の借上げ、コミュニティ住宅の管理

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		36,813	53,645	9,966
事業費	事業費	21,963	42,925	5,766
	国庫支出金	5,000	15,500	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	4,000	12,000	0
	その他	4,447	4,220	4,104
	一般財源	8,516	11,205	1,662
	人件費計	14,850	10,720	4,200
	正規（人）	2.25	1.60	0.60
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	道路築造延長45.0m 仮設住宅の借上げ1戸 コミュニティ住宅の管理	道路築造延長56.1m 仮設住宅の借上げ1戸 コミュニティ住宅の管理	仮設住宅の借上げ1戸 コミュニティ住宅の管理

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

4 頁

令和 7年11月19日
10時28分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404070 区画整理課換地係
事務事業 02271 住宅市街地総合整備事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
除却家屋の進捗率（戸数）	%	100.00 100.00	0.00 100.00	100.00 0.00
コミュニティ住宅の累計戸数（建設型・借上げ型）	戸数	27.00 27.00	0.00 27.00	27.00 0.00
追田川プロムナード築造の進捗率（延長ベース）	%	80.80 81.82	0.00 100.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	既成市街地の整備であり市自らが事業を実施する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	H18年度に末広・花の木から事業促進陳述書が提出されています		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	事業費ベースの進捗率は100%を達成しました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	土地区画整理事業と合併施行を実施しています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	縮小・統合
1 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	重点密集市街地である当地区は、狭あいな道路、不整形な過小宅地、密集した木造老朽住宅、既存商店街の活力低下等により防災上の懸念を抱えていたため、土地区画整理事業との合併施行により、居住環境の改善と防災機能の向上を目指し、安心して安全な市街地の形成と中心市街地としての活性化が図られるよう、本事業を推進してまいりました。令和 6 年度をもって本事業における公共施設整備改善の終了を迎え、令和 7 年度以降はコミュニティ住宅等の管理を行ってまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント （ 4 0 0 文字 ）	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（ 1 / 2 ）

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404070 区画整理課換地係
事務事業 02273 南明治第三土地区画整理事業 電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	03	第9次安城市総合計画			
重点戦略	003	ばしょ			
分野別	001	1 2 都市基盤			
施策の取組	003	安全かつ利便性の高い市街地の形成			
事務事業	008	南明治第三土地区画整理事業			
事業期間	平成29年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
重点戦略		マニフェスト			
根拠法令等	土地区画整理法				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、都市機能の整備が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されて、土地利用を増進させることができますようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。
事務内容	南明治第三土地区画整理事業の換地に関する仮清算、仮換地変更、使用収益開始、証明書発行、審議会・評価委員会の開催等の事務

【コスト】

（単位：千円）

		令和 5年度 決算額	令和 6年度 決算額	令和 7年度 予算額
トータルコスト		11,880	14,740	97,553
事業費	事業費	0	0	73,053
	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	73,053
	人件費計	11,880	14,740	24,500
	正規（人）	1.80	2.20	3.50
その他経費		0	0	0

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
【事務事業活動実績】	まちづくり協議会活動 支援	区画整理の事業化を行 う	換地設計、建物補償調 査、事業計画変更図書 の作成

事務事業評価シート（ 2 / 2 ）

6 頁

令和 7年11月19日
10時28分55秒

評価年度 令和 6年度 進捗区分 1 次評価
所属 0001404070 区画整理課換地係
事務事業 02273 南明治第三土地区画整理事業

【 定量評価 】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
まちづくり協議会の開催回数	回	4.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
想定換地設計の作成	進捗率	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
事業計画関連図書の作成	進捗率	0.00 0.00	0.00 0.00	100.00 0.00

【 定性評価 】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等がサービスを行っていない 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	1
理由	既成市街地の整備であり市が自ら実施する必要があります。		
2	必要性	市民ニーズの有無 市民ニーズは充分にある 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している 市民ニーズはない又は不明である	1
理由	H15に区画整理事業施行区域として都市計画決定されています。		
3	有効性	目標に対する進捗状況 目標を上回る又は目標どおりの進捗である 目標を下回る進捗状況である 進捗はかなり遅れている	1
理由	R6年度に事業化を行いました。		
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	2
理由	事業計画及び実施計画の準備を進めています。		
5	公平性	事業規模・サービス水準 環境変化や他自治体等と比較して適正である。 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	1
理由	事業計画及び算定基準に基づき実施する事業です。		

【 1 次評価結果 】

事業の方向性	拡充
1 次コメント (4 0 0 文字)	平成15年に南明治土地区画整理事業として都市計画決定を行いました。安城幸田線南側の街区において、住民より早期に事業化してほしい旨の要望を受け、約1.1haで事業化を行いました。今後は土地の有効利用・高度利用を推進し、安全で快適な居住環境の形成と都市機能の誘導を図ってまいります。

【 2 次評価結果 】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。